

教育をしているのに、なぜハラスメントが起こるのか？

教育の新提案

「ハラスメント防止インバスケツト問題集トセリ」の提供を開始！

日本で唯一、リーダー層に必要な能力を測定するツール「インバスケツト」を専門的に研究・開発し、年間4万冊以上の教材を全国へ届けている株式会社インバスケツト研究所（本社：東京・江東区、代表取締役社長：鳥原 隆志、以降インバスケツト研究所）は、受講者が実際の職場でとっている**無意識のハラスメント行動に気付かせる実践型の教育ツール「ハラスメント防止インバスケツト問題集トセリ」**の提供を開始しました。

インバスケツトは“仕事の模擬体験”の中で、問題解決力、判断力、業務遂行力などマネジメントに欠かせない能力やスキルを実際に発揮できるか多面的、かつ客観的に“評価・測定”できるビジネスシミュレーションツールです。累計5万人以上の社会人に対して人材育成、自己啓発、研修、アセスメントなどで利用されてきました。

企業でのハラスメント教育は、その重要性を年々増大させています。しかし、定期的に研修などを実施してもうまくいっていない、つまり、実際の職場でハラスメントが発生していることが散見されています。

- ✓ 研修を実施しているが、ハラスメント予備軍に限って他人事のように思っている
- ✓ 受講者に自身のハラスメント傾向に気付かせるテストを実施するものの、二者択一式の簡易のもので気付きに繋がらない
- ✓ ハラスメント研修を実施しているが過去の事例や法令の学習にとどまっており、学んだことが活用できていない
- ✓ あるいは、学んだことを試すケーススタディはあるものの、簡単であったり、リアル感がなかったりで、シミュレーションにならない

これらは、ハラスメント教育がうまく機能していない企業の人事教育ご担当者様が抱えている悩みですが、それは、**過去の事例や法律的な知識を学ぶインプット型教育に重点を置き、学んだことが実際にできるかどうかのアウトプット型教育がおろそかにされてきたことに原因がある**と考えら

れます。

インバケットは、究極のアウトプット型教育ツールだと言われています。

このハラスメント教育の課題を解決するツールとして、「[ハラスメント防止インバケット問題集トセリ](#)」をこのたび提供することとなりました。

■「ハラスメント防止インバケット問題集トセリ」とは

制限時間 45 分で、架空の企業の管理職になりきり、部下指導や休職中の部下への対応、顧客からのクレームなど実際の職場で起こり得る 10 個の案件を処理するビジネスシミュレーションゲームです。研修で学んだことが実際にできるかどうかを実践的にトレーニングできるだけではなく、受講者が無意識でとっているハラスメント行動に気付かせることができます。

問題集には、『「ハラスメント」の解剖図鑑』著者 株式会社メンタル・リンク代表取締役社長 公認心理師 宮本剛志氏監修の案件解説書が付属しています。案件解説書は、書かれた回答がハラスメント行動に該当するかどうかを確認するチェックリストと解説、あわせて「ハラスメント回答例」と「ハラスメントにならない回答例」も収録されています。

「ハラスメント防止インバケット問題集」の一部

案件 9	
差出人	関東北営業所 森友所長代理
題名	寺竹について
宛先	関東北営業所 秋村所長
CC	
送信日時	20XX 年 6 月 21 日 11:35

森友です。

かずみマートの担当を寺竹から細野へ変更させます。さきほどかずみマートから商品の発注漏れがあったやっています。

いつものように体調不良とかで寺竹は休みです。すでに当てもしていないので私が対応をしましたから同じような苦情を言われていると思います。

毎日夜遊びをしているらしく、いつも眠そうにしていないからこのようなことになるのだと思います。しかも、今、関東南営業所と一緒に進めている菓子博覧会が参画して頑張っているのに、寺竹は適当な気がします。

以前、所長にご指導いただき反省を述べましたがほかの営業所にも迷惑がかかっていると思いますし、気にかかわるので次回の博覧会会議より、プロジェクトでください。

このような姿勢だから、発注漏れのようなどうしようもないと思います。

今回は甘やかさず所長から厳しくご指導いただきました。

©2025 株式会社インバケット 研究部

17

案件 9	
【チェックを付けてみよう】	
☐ (14) 人格否定につながるような叱り方をした	
☐ (15) 因果関係のない過去の事例を振り起こして叱った	
☐ (16) 部下に説明もなく業務を変更した	
☐ (17) キャパオーバーの業務を任せようとした	
☐ (18) チームから除外しようとした	

解説

(14) 人格否定につながるような叱り方をした

部下を叱る際に、「だからお前はダメなのだ」「こんな人柄を肯定しないようにしよう。この行為は、[]になる可能性がある」。

今回の案件でも、「仕事をないがしろにする性格をセツと回答しますよ」や「その姿勢にミスの原因があるから」と回答していると「精神的な攻撃」に該当するから叱り方の原則は犯してしまった行動、事実を伝えることずみマートの発注漏れ」という事実を伝えることができてまいしょう。

(15) 因果関係のない過去の事例を振り起こして叱った

部下が犯してしまったミスと直接因果関係がない過失も「精神的な攻撃」としてバウハラに該当する可能性があります。

今回の案件でいうならば、博覧会プロジェクトの事例には業務上の因果関係が認められません。したがって、もとバウハラに該当するかもしれないので注意が必要で、たまた、今回のケースと関連する過去の事実を指摘その際にも具体的に指摘しましょう。例えば、「先月も漏れがあって、図説で今後の改善策を話し合ったよねでている？」などです。

(16) 部下に説明もなく業務を変更した

担当や配置の変更、業務量に変動があるのは、業務上そうなのだから根拠や背景を伝えないと、部下に対して

©2025 株式会社インバケット 研究部

18

ハラスメント回答	
森友さん	
お疲れ様です。かずみマートの担当は細野さんに変更でOKです。(16)(17)	
また、菓子博覧会についても、周りに悪い影響が出ているのであれば、プロジェクトから外れてもらうほうがいいですね。(18)	
寺竹さん	
かずみマートの商品発注漏れがあったと聞いています。	
菓子博覧会プロジェクトでも、働く姿勢について指摘があったと聞いていますが、そもそも仕事への姿勢に今回のミスの原因があるのではないのでしょうか？(14)	
その姿勢が改善するまでプロジェクトへの参加も見送ってください。(18) みんなが非常に困っています。	

ハラスメントにならない回答

森友さん

ご報告いただきありがとうございます。

かずみマートですが、一旦森友さんが担当してください。佐々岡さんへの教育目的で佐々岡さんに副担当になってもらいましょう。資料より細野さんの業務負担に偏りがあるようです。これ以上任せると、業務過多になるのでやめましょう。いかがですか？森友さんの意見を聞かせてください。博覧会プロジェクトへの係わり方については私も実際に寺竹さんの関与の仕方を確認し何とも言えません。責任はたつたプロジェクトに入って状況を確認させてもらいます。ですので、いままでも寺竹さんをプロジェクトから外すことは考えていません。今後一緒に検討していきます。また、寺竹さんは5〜6社で同様のトラブルがあるのでね。一度、寺竹さんと話をしてみます。よろしく願います。

寺竹さん

お疲れ様です。

かずみマートで商品発注漏れがあったと聞きました。これは事実ですか？もしそうであれば原因究明のうえ再発防止を検討して報告ください。7月3日に改めて進捗確認したいです。なお、かずみマートの担当は寺竹さんから森友さんと佐々岡さんのペアに変更させていただきます。どのような原因であれ、現在お客様にご迷惑をおかけしているということ以外に、佐々岡さんを教育する目的も含まれていますので承知していただきたい。

よろしく願います。

©2025 株式会社インバケット 研究部

20

■特徴

特徴1 無意識のハラスメント行動に気付かせるツール

インバケットは、限られた時間内で回答をすることで受講者本人が実務で無意識にとっている行動をあぶり出すツールです。その特性を生かして、受講者が知らず知らずのうちにとっているハラスメント行動に気付かせ、ハラスメント行為の防止に繋げることができます。

特徴2 リアルなケースでの学習

どの職場でも管理職が経験する部下指導をシミュレーションできる題材になっているため、ハラスメント研修で学んだことが実際に発揮できるかどうかを試し、知識の定着が図れます。

特徴3 さまざまなハラスメントに対応

パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントのほか、現在、社会問題となっているカスタマーハラスメントの要素も含んだ構成となっています。

特徴4 部下指導教育にも最適

ハラスメントを意識しすぎて、部下指導がおろそかになっては管理者の役割を果たしているとは言えません。問題集で部下指導のシミュレーションができることはもちろんのこと、付属している解説書では、ハラスメントにならないポイントも適宜説明しています。

特徴5 専門家による監修で納得感倍増

『「ハラスメント」の解剖図鑑』著者 株式会社メンタル・リンク代表取締役社長 公認心理師 宮本剛志氏より、問題集付属の案件解説書を監修いただいているため、解説に納得感があり、学習効果の向上が期待できます。

■活用シーン

「ハラスメント研修で学んだことが実際にできるかどうかを試すテストとして活用する」、「インバケットで自身のハラスメント傾向に気付かせて、学ぶ必要性を感じてから講義を行う」など研修の教材としてご活用いただくことはもちろんのこと、振り返り資料が充実している教材なので個人学習としても活用でき、受講者お一人様からでも教育に導入いただけます。

■費用

3,000 円（税込 3,300 円）/部

■無料体験会開催

東京開催

日時：2025 年 12 月 16 日（火）14:00～16:30

場所：東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24 ビル 17 階 インバスケッ研修センター

▼お申し込みはこちらから

<https://www.inbasket.co.jp/event/2025-12-16/>

大阪開催

日時：2025 年 12 月 19 日（金）14:00～16:30

場所：大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-18 貸会議室ユーズ・ツウ大阪梅田

▼お申し込みはこちらから

<https://www.inbasket.co.jp/event/2025-12-19/>

オンライン開催

日時：2026 年 1 月 16 日（金）14:00～16:30

▼お申し込みはこちらから

<https://www.inbasket.co.jp/event/2026-01-16/>

■インバスケッ研究所

◆会社概要

社名：株式会社インバスケッ研究所

代表：代表取締役社長 鳥原隆志

所在地：東京本社（法人部門のみ）〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24 ビル 17 階

大阪本社 〒599-8237 大阪府堺市中区深井水池町 3152 KU 深井オフィスビル 4 階

URL：<https://www.inbasket.co.jp/>

◆事業内容

- ・インバケット法を用いた個人・法人向け教材開発・販売
- ・インバケット法を用いた人材育成、並びに能力開発に関する各種セミナー
- ・講習会・研修会の企画・開催、並びに運営・管理
- ・インバケット法を用いたヒューマンアセスメントに関する情報、並びにサービスの提供
- ・マーケティングリサーチ業務、及び経営コンサルタント業務